

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 タケモル TM-100 (主剤: 18 kg 缶)
会社名 全日本外壁ピンネット工事業協同組合

住所: 東京都北区十条仲原2丁目12番6号

電話番号: 03-3906-1503

緊急連絡先: タケモル工業株式会社

電話番号: 03-3906-5021

作成日: 2016年 6月 1日

改定日: 2019年10月 1日

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

引火性液体	区分外
急性毒性 (経口)	区分外
急性毒性 (経皮)	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分2

※上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素:

・絵表示



・注意喚起語 警告

・危険有害性情報

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

・注意事項 (GHS 対応表記)

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

救急措置

暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名: スチレン・ブタジエン共重合ラテックス

成分及び含有量:

成分名	含有率 (%)	CASNo.	化審法
スチレン・ブラヂエン共重合体	42.9-43.9	非公開	既存
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	2.1	68412-54-4	既存
アンモニア	0.1-0.2	7664-41-7	既存
水	54.0-55.0	7732-18-5	—

4. 応急処置

目に入った場合 : 清浄な流水で15分以上よく洗い、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付いた場合 : 水と石鹼でよく洗い落とす。炎症が出た場合は医師の診断を受ける。
吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移って安静にする。
飲み込んだ場合 : 大量の水を飲ませて吐かせ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の処置

ラテックスは水を多量に含むため、そのままでは引火、発火、燃焼はしない。
製品乾燥物に着火した場合は下記の処置をとる。

消化剤 : 水、炭酸ガス、粉末、泡、乾燥砂など一般消化剤を使用する。
消化方法 : 注水、水噴霧、各種消化剤を使用し風上から消化する。
消化時の保護具 : 状況に応じて、呼吸用保護具等適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業者は保護眼鏡、保護手袋を着用する。
環境に対する注意事項 : 河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり白濁させる。
河川・湖沼等の公共水域への流入は絶対に避ける。
除去方法 (回収方法)
少量漏洩時 : 布・紙ウエス・おが屑・砂などに吸収させて回収する。
少量漏洩時 : 間に合わせの土堤を作るなどして拡散を防ぎ、バキューム等で吸い上げ容器に回収する。

河川・湖沼等に流入した場合は、必要に応じ、消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に連絡を取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・漏洩を防止する。
- ・取扱いは換気の良い場所で取扱う。スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は局所排気装置を設置するか保護マスクを着用する。
- ・目・皮膚への接触を防止するため状況に応じ、保護眼鏡・保護手袋などの保護具を着用する。
- ・水禁忌物質との接触を避ける。

保管

- ・密栓し、凍結・直射日光を避け、屋内で保管する。貯蔵温度は5～35℃が好ましく温度変化の大きい戸外は避ける。
- ・水禁忌物質との同一場所での保管は避ける。
- ・皮張り防止のため、使用後は密閉して保管する。

8. 暴露防止措置

管理濃度 : 規定なし

- 許容濃度 : 勧告値なし
設備対策 : 換気の悪い場所で取扱う時は局所排気装置を設置することが望ましい。
取扱場所の近くに洗眼、水洗設備を設置することが望ましい。
保護具 : 保護眼鏡 : ガラスまたは樹脂製のゴーグルタイプがよい。
保護手袋 : ゴムまたは樹脂製がよい。
保護衣 : 厚手の布製で長袖、長ズボンを着用することが望ましい。
-

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 乳白色水性液体 (ラテックス)
臭い : 殆ど無し
PH : 6.0～8.0
融点 : 約0℃
沸点 : 約100℃
凝固点 : 約0℃
比重 : 約1.0
水溶性 : 水と任意に混合する
-

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の実取扱い条件においては、安定である。
電解質や凝集剤とは凝集を起こす。
危険な反応 : 水禁忌物質との接触
避けるべき条件、材料 : 水禁忌物質
危険有害な分解生成物 : 知見になし
-

11. 有害性情報

- 急性毒性 : 現在のところ知見なし
局所効果 : 目に触れると刺激があり、炎症を起こすことがある。
継続的な皮膚接触により、炎症を起こすことがある。
-

12. 環境影響情報

- 移動性 : 知見無し
他の有害影響 : 河川などに流入すると、広範囲に白濁汚染することになる。
-

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄は原則として焼却とする。そのままの状態では絶対廃棄しない。
廃棄は許可を得た産業廃棄物処理業者に委託する。洗浄水等の廃水は凝集沈殿、
活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。
汚染包装容器 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。
-

14. 輸送上の注意

- 国際規制 : 国連の定義上危険物に該当しない。
陸上 : 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないよう
荷崩れ防止を確実にを行う。
-

15. 適用法令

- 消防法 : 該当しない
毒劇法 : 該当しない

安衛法 特化則：該当しない
有機則：該当しない
表示物質：(第 57 条の 1)：該当しない
通知物質：アンモニア

P R T R 法

[第 1 種指定化学物質] ポリ（オキシエチレン）＝ノニルフェニルエーテル

[第 2 種指定化学物質] 非該当

16. その他の情報

この安全データシートは、JIS Z 7253(2012)に基づいて記載されております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

また、記載事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

記載内容の問い合わせ先 ：製品および会社情報欄に記載
